

日本の代表的なコンサートホールであるサントリーホールは1986年に完成しています。完成間もない頃に何回か聞いた感想は、大変残響が多いこと、音がどこから聞こえてくるか分かりにくい状態で、これはだめだな、と思っていました。これには個人的な事情もありまして、私はそれまで海外のかなりデッドな演奏会場でのコンサートに通っていたので、あまりの違いにびっくりしたわけです。

頻繁に通うことになるのは海外駐在を終えて日本に落ち着いた比較的最近です。NHK 交響楽団のプログラムを見ると結構著名な指揮者がやってくるので、定期会員になって毎回同じ席で鑑賞しようと思いました。ところがN響のサントリーホールを会場とするB プログラムは人気があるらしく、良席にはほとんど空きがない、やむなく視覚的に指揮者、楽員が間近に見ることができるRA ブロックの席を予約しました。(歴史の古いN響の定期会員は高齢者が多く、チケットを持っていても来ない人が多いようで、完売のコンサートでも空席があり、買えないファンから苦情が出ているようです。事務局から「会員の皆さんはコンサートに来てください」と手紙がきたこともあります)

サントリーホールの客席は(別図座席表を参照)中央部が1階と2階、右側が前方からRA、RB、RC、RD(いずれも2階席)、左側もLA、LB、LC、LD、それに舞台後ろのPブロックと大きく4つの部分からなっていますが、その中でもRA、LAは横から舞台をのぞき込むような場所にあります。従って実演ならではの観察、どんな顔をして演奏しているか、指揮者のその場での指示にどのように対応しているか、どのくらい合わせているか、合わないか、等がばっちりわかります。この場所での演奏では、イタリアのオペラ指揮者ネルロ・サンティの鋭い目によるオケコントロールぶりが印象に残っています。

RAブロックは舞台右なので、協奏曲のソリストはあまりよく見えません。またピアノだと蓋が邪魔になります。よって次シーズンから反対側のLAブロックに変更しました。この席では、プレヴィンのエレガントなモーツァルト、これもイタリアのノセダの汗だくでの熱演ぶりなどが印象に残っています。

ところで舞台すぐ横の席の場合、いわゆる直接音が大きく聞こえてくるので、楽器の位置によりかなりバランスが違って聞こえます。特に弦楽器がそうで、また位置によって聞こえなくなることもあります。コントラバスが自分の手前にある場合そうです。首席のパーヴォ・ヤルヴィはじめヴァイオリン両翼配置を取る指揮者が多いですが、そうするとコントラバスは左となり、LAブロック席の音は低音不足となります。もともとコンサートでは、鑑賞の対象となるのは音楽の解釈(早い遅い、フレーズの強調振り、個別楽器の演奏振り等)も大きな比重を占めるだろうし、音のバランスについては視覚も動員されて補強され、いわば聞こえる(アンバランスな)音楽を修正しながら聴き取っているともいえるので、視覚重視のこのような舞台横の席もそれなりに楽しめるものだと思います。

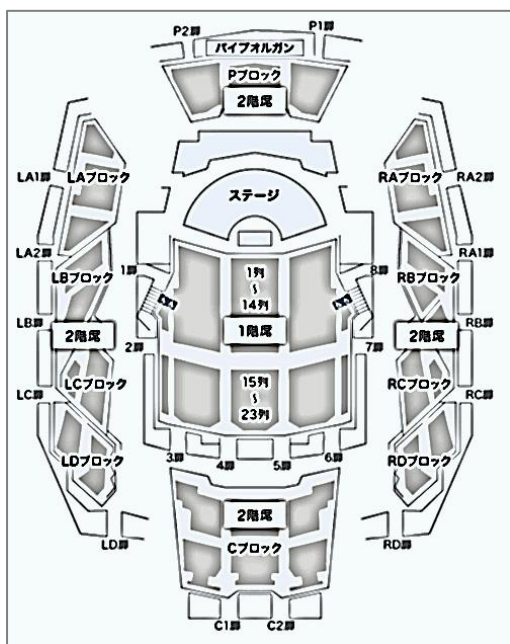
修正して聴く、といってもある程度馴染みのある曲だと可能で、全く知らない曲だと視覚による補足も限界があり、あるコンサートのテレビ放映で実際に聞いた音響に比べあまりに違いすぎるのでは、と思うようになり、視覚面のメリットをあきらめた方が良いのではと思うようになりました。

というわけでまた変更手続きを取り、何とか正面左側の席を見つけましたが、6列目なので前の方の演奏者達はよく見えますが、どうも第一ヴァイオリンが強く、木管楽器が視覚的に見にくく従って音もよく聞こえないというデメリットがあります。さらにこの席では、舞台の右後方にある無人テレビカメラが指揮者を映す際、うっすらと暗闇の中の自分の姿を映していることをテレビ放映で発見しました。幸い眠っているとかの姿はありませんでしたが、テレビで見つけたあとの演奏会では、どうもこの無人カメラの存在が気になって演奏に集中できず、結局またまた変更することになりました。

今度はしばらく前に別の演奏会で体験した上の方の席とすることにし、LBブロックの1席を選び、これで今日に至っています。ここは舞台からそれほど離れていないので直接音もある程度入りますが、主に聞こえるのは客席空間に響いているいわば音のかたまりと言うことができ、2階のこのブロックは位置的にその空間の中に入り込むようなところにあります。視覚的にもオケのすべてを見渡すことができるので分離もよい上に、よく溶け合った音楽として受け取ることができるようです。正面の席より上にある分、音が豊であるという人もいるようです。

思えばよい音楽ホールというのは、聴衆が聴く空間にいかに良い音が、すなわち適度な音量、適度な残響、明瞭な分離により楽器、奏者の聞き分けがうまくでき、それでいて全体が調和している、そのような音が詰まっているか、によると思いますが、サントリーホールはかなり満足のいく水準に達していると思います。ただ個人的にははじめに書いたように残響が長く、オーケストラの最強音ではあまりクリアでないと感じています。

以上オーケストラを聞く場合、その豊かな音をどのくらい味わうことができるかは座席によって相当異なる事を実感した次第です。



右側座席最前列よりの眺め



ロビーにて